

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 21 年 7 月 9 日 (2009.7.9)

【公表番号】特表 2008-545873 (P2008-545873A)  
 【公表日】平成 20 年 12 月 18 日 (2008.12.18)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-050  
 【出願番号】特願 2008-515996 (P2008-515996)  
 【国際特許分類】

C 0 8 F 259/08 (2006.01)

C 0 8 F 2/24 (2006.01)

B 0 1 F 17/52 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 259/08

C 0 8 F 2/24 Z

B 0 1 F 17/52

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 5 月 20 日 (2009.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一つ以上のフッ素化モノマーの水性エマルジョン重合を含むフルオロポリマーの作製方法であって、前記水性エマルジョン重合を乳化剤としてのオリゴマーの存在下で実施し、前記オリゴマーはその場で調製し一つ以上のイオン性基を含み、部分フッ素化された主鎖及び 2000 g / モル以下の数平均分子量を有し、且つ前記一つ以上のフッ素化モノマーの重合によって形成されるフルオロポリマーの繰り返し単位とは異なる繰り返し単位の組み合わせを有し、

前記オリゴマーが、部分フッ素化されたエチレン性不飽和を有する二つ以上の部分フッ素化されたモノマーの繰り返し単位を含み、前記繰り返し単位が、前記単位の少なくとも一つが部分フッ素化されたモノマーから由来する、テトラフルオロエチレン、フッ化ビニリデン、フッ化ビニル、トリフルオロエチレン、ヘキサフルオロプロピレン、またはそれらの組み合わせから誘導される、前記フルオロポリマーの作製方法。

【請求項 2】

前記方法は、100 g / 10 分以下のメルトフローインデックス (MFI) を有する半結晶質フルオロポリマーを作製するように実施される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

フルオロポリマーおよびオリゴマーを含む水性分散体であって、該オリゴマーはその場で調製し一つ以上のイオン性基を含み、部分フッ素化された主鎖を有し、2000 g / モル以下の数平均分子量を有し、且つ該フルオロポリマーの繰り返し単位とは異なった繰り返し単位の組み合わせを有し、

前記オリゴマーが、部分フッ素化されたエチレン性不飽和を有する二つ以上の部分フッ素化されたモノマーの繰り返し単位を含み、前記繰り返し単位が、前記単位の少なくとも一つが部分フッ素化されたモノマーから由来する、テトラフルオロエチレン、フッ化ビニリデン、フッ化ビニル、トリフルオロエチレン、ヘキサフルオロプロピレン、またはそれらの組み合わせから誘導される、水性分散体。

